

2025年8月29日

報道関係者各位

国連大学サステナビリティ高等研究所
公益財団法人イオン環境財団

Global Youth MIDORI platform 2025 第2回国際合同研修とスピーチコンテストを開催 ～COP30に上位受賞者2名を派遣～

国連大学サステナビリティ高等研究所（所長 山口しのぶ 以下 UNU-IAS）と公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下 財団）は、「Global Youth MIDORI platform（以下 GYM）」において、第2回国際合同研修とスピーチコンテストを開催し、5名の受賞者を選出しました。

最優秀賞・優秀賞を受賞した大学生2名は、2025年11月にブラジルで開催される「国連気候変動枠組条約第30回締約国会議（COP30）」に、国連大学の代表団の一員として参加し、地球環境問題に対する自らの取り組みやユースが直面する課題を発信する予定です。

GYMは、生物多様性の損失や気候変動など、地球規模の課題について、科学的知見や国際政策への理解を深め、ユースが意思決定プロセスに主体的に関わるための力を育む人材育成プラットフォームです。研修終了後もGYMの活動を通じて、実践的な関与の機会を継続して提供し、ユースの長期的な能力形成を支援しています。

本プログラムは、今年度より世界各国から応募を受け付け、147の国と地域から2,657名の応募がありました。2025年8月4日～6日にオンラインで開催された第2回国際合同研修には世界8か国15名の大学生が参加し、専門家の講義や、国や地域によって異なる環境課題を持つ他の参加者との議論を通じて、包摂的なアプローチを通じた解決策について理解を深めました。

GYM第2回国際合同研修 スピーチコンテスト受賞者

1. 最優秀賞

酒井 はるな	大阪大学（日本）
--------	----------

2. 優秀賞

ヴェネッサ・クエック・ウェン・ヤン	マラヤ大学（マレーシア）
-------------------	--------------

3. 3位

大野 準元	慶應義塾大学（日本）
岩本 早紀	上智大学（日本）
アミラ・プジ・ハストウティ	インドネシア大学（インドネシア）

【ご参考】

【Global Youth MIDORI platform (GYM)】

地球環境問題に対する意思決定へのユースの有意義な参加に向けて、ユース世代の能力を高めるとともに、ユースに特化したプラットフォームの構築を目的として、2024年にUNU-IASと財団の共同事業として立ち上げられました。GYMは講義、ディスカッションおよびスピーチコンテストで構成される国際合同研修、国連の国際会議への派遣、プラットフォーム構築活動で構成されています。このような総合的・長期的なユースの人材育成はアジア地域で先駆けとなる取り組みであり、各国の環境問題に対する意思決定へのユースの有意義な参加の機会拡大につながることが期待されています。

2024年に開催された第1回GYM国際合同研修には、日本およびアジア太平洋地域の8か国18名の大学生及び大学院生が参加しました。スピーチコンテストの受賞者上位2名は、2024年10月にコロンビアで開催された生物多様性COP16に国連大学の代表団の一員として参加し公式サイドイベントに登壇しました。さらに、参加者は様々な普及啓発活動に登壇するとともに、2025年の国際合同研修プログラムの実施をサポートしました。

よこはま生物多様性フェスティバル：地球環境問題の解決へのユースの役割

<https://ias.unu.edu/jp/news/news/side-event-spotlights-youth-capacity-building-climate-and-biodiversity.html>

生物多様性COP16サイドイベント：ユースの声をグローバルな生物多様性の行動へ繋げる

<https://ias.unu.edu/jp/news/news/elevating-youth-voices-for-global-biodiversity-action.html>

国連大学イベント：グローバルな政策立案へのユース参画の課題を議論

<https://ias.unu.edu/jp/news/news/challenges-youth-engagement-global-policymaking.html>

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動を実施しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）】

国連とその加盟国が関心を寄せる緊急性の高い地球規模課題の解決に取り組むという使命を持つ国連大学（UNU）の研究所として、2014年に設立されました。東京に拠点を置き、「持続可能な開発のためのガバナンス」、「生物多様性と社会」、「水と資源管理」「イノベーションと教育」という4つの領域の研究を推進するとともに、修士・博士課程ポスドクフェローシップ、ならびに短期集中コースを提供しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

国連大学サステナビリティ高等研究所 丹野・丸山

TEL 03-5467-1212 e-mail: IAScomms@unu.edu、gymsecretariat@unu.edu

公益財団法人イオン環境財団 天野・吉永

TEL 043-212-6022 e-mail: ef@aeon.info